



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 株式会社トーモク 上場取引所 東・札
 コード番号 3946 URL <https://www.tomoku.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 中橋 光男
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員(氏名) 山口 禎人 TEL 03-3213-6811
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	50,922	3.1	1,415	73.0	1,339	22.4	759	13.3
2025年3月期第1四半期	49,372	1.6	818	33.1	1,093	1.6	670	13.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 651百万円(△36.3%) 2025年3月期第1四半期 1,022百万円(△38.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	46.15	—
2025年3月期第1四半期	40.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	208,977	93,187	44.2
2025年3月期	206,825	93,371	44.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 92,452百万円 2025年3月期 92,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	55.00	100.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	65.00	—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	109,500	4.2	3,600	14.4	3,500	14.4	2,100	9.6	127.53
通期	230,000	4.7	11,000	17.5	10,800	14.9	7,000	7.5	425.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社(社名)日栄紙工株式会社、遠州紙工業株式会社、除外 1社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	19,341,568株	2025年3月期	19,341,568株
2026年3月期1Q	2,875,511株	2025年3月期	2,875,150株
2026年3月期1Q	16,466,252株	2025年3月期1Q	16,438,417株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、四半期決算短信(添付資料)「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果及び設備投資において持ち直しの動きもあり緩やかに回復しました。しかしながら、米国の通商政策の影響や、物価上昇の継続が景気の下振れリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が続きました。

その中で当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は50,922百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は1,415百万円（同73.0%増）、経常利益は1,339百万円（同22.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は759百万円（同13.3%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

段ボールの国内需要は、食料品を中心とした値上げが継続し消費者マインドの改善に足踏みがみられるなか、やや前年を下回りました。当社グループの国内段ボール部門は加工食品向けや通販宅配向けが前年を下回り、販売量はやや前年を下回りました。海外段ボール部門では、米国がトランプ関税の影響、ベトナムは主要取引先の販売量減少もあり、販売量は前年同期比を下回りました。一方、国内の販売価格は、前期から取り組んだ価格改定の効果で上昇しました。

その結果、段ボール部門の売上高は、31,415百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は2,644百万円（同38.6%増）となりました。

〔住宅〕

住宅市場では、法改正による一時的な駆け込み需要の反動減で新設住宅着工戸数は前年同月比で大幅に減少し、厳しい事業環境が続いています。当社グループの住宅部門は、(株)スウェーデンハウスの販売棟数が前年同期比で減少しましたが、資材価格及び人件費上昇の販売価格への転嫁に取り組んでまいりました。(株)玉善は顧客のニーズに沿った用地の取得及びSNSを含むネット広告媒体に注力し、購買意欲が高い顧客を来場に繋げたことにより販売棟数は前年同期比で増加しました。

その結果、住宅部門の売上高は8,547百万円（前年同期比1.3%増）となり、収益面では年間売上高に対する上半期売上高比率が低いため営業損失は1,401百万円（前年同期は営業損失1,265百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

物流業界では、国内貨物総輸送量は、建設関連貨物が下押しし、4年連続のマイナスが予測されます。当社グループの運輸倉庫部門においては、昨年稼働した大手小売業向け保管型物流センターの通年化や飲料関連貨物の新規拠点開設により取扱量が増加しました。損益面では、物流コスト適正化交渉を進めたものの、人件費・集車コストが先行して増加しました。その結果、運輸倉庫部門の売上高は10,959百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は388百万円（同9.0%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金等が減少しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産、有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末比2,152百万円増加の208,977百万円となりました。負債は賞与引当金等が減少しましたが、借入金等の増加により前連結会計年度末比2,336百万円増加の115,789百万円となりました。純資産の部は為替換算調整勘定の減少等により前連結会計年度末比184百万円減少の93,187百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日に発表いたしました業績予想の達成に引き続き努めてまいりますので、これを変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,002	14,983
受取手形、売掛金及び契約資産	29,168	31,150
電子記録債権	9,302	10,029
棚卸資産	23,161	26,114
その他	6,857	7,342
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	89,483	89,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,967	34,575
機械装置及び運搬具（純額）	18,643	18,585
土地	37,052	38,184
その他（純額）	4,742	5,561
有形固定資産合計	95,405	96,907
無形固定資産	718	622
投資その他の資産		
投資有価証券	11,012	11,283
その他	10,317	10,688
貸倒引当金	△112	△136
投資その他の資産合計	21,217	21,836
固定資産合計	117,341	119,366
資産合計	206,825	208,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,223	22,324
短期借入金	10,096	11,001
1年内返済予定の長期借入金	7,239	9,386
未払法人税等	1,564	770
賞与引当金	2,148	1,058
その他の引当金	312	177
その他	9,913	11,264
流動負債合計	53,497	55,982
固定負債		
長期借入金	50,328	49,797
退職給付に係る負債	2,984	3,006
その他	6,641	7,004
固定負債合計	59,955	59,807
負債合計	113,453	115,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,086	11,086
利益剰余金	64,509	64,362
自己株式	△4,146	△4,147
株主資本合計	85,119	84,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,365	3,588
為替換算調整勘定	1,796	1,502
退職給付に係る調整累計額	2,453	2,389
その他の包括利益累計額合計	7,614	7,481
非支配株主持分	637	734
純資産合計	93,371	93,187
負債純資産合計	206,825	208,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	49,372	50,922
売上原価	41,524	42,168
売上総利益	7,847	8,754
販売費及び一般管理費	7,029	7,338
営業利益	818	1,415
営業外収益		
受取利息及び配当金	130	129
仕入割引	54	66
雑収入	246	125
営業外収益合計	431	322
営業外費用		
支払利息	120	207
為替差損	-	138
雑損失	34	52
営業外費用合計	155	398
経常利益	1,093	1,339
特別損失		
固定資産処分損	8	7
減損損失	7	0
特別損失合計	16	7
税金等調整前四半期純利益	1,077	1,331
法人税、住民税及び事業税	302	680
法人税等調整額	86	△131
法人税等合計	389	548
四半期純利益	688	782
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	670	759

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
四半期純利益	688	782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△149	226
為替換算調整勘定	564	△293
退職給付に係る調整額	△81	△63
その他の包括利益合計	334	△131
四半期包括利益	1,022	651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,001	626
非支配株主に係る四半期包括利益	20	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

当第1四半期連結会計期間より、当社の非連結子会社であった日栄紙工株式会社及び遠州紙工業株式会社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,325	8,441	10,604	49,372	—	49,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	3	1,511	1,531	△1,531	—
計	30,342	8,445	12,115	50,903	△1,531	49,372
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,907	△1,265	427	1,069	△251	818

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△251百万円には、セグメント間取引消去34百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△285百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,415	8,547	10,959	50,922	—	50,922
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	2	1,533	1,559	△1,559	—
計	31,438	8,550	12,493	52,482	△1,559	50,922
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,644	△1,401	388	1,632	△216	1,415

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△216百万円には、セグメント間取引消去36百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△252百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,920百万円	1,936百万円